

# 『DX推進リーダー』

・・・各部署におけるDX推進をリードする変革のリーダー

## 期待する役割

各職場において業務課題を特定し、デジタル技術を活用した改善を主導する。

## 必要なマインド

### ○当事者意識

- 所属部署のDXを自らが牽引するという強い責任感を持ち、変革の過程で生じる様々な課題を乗り越え、周囲を巻き込みながら粘り強く取り組みを推進する姿勢

### ○課題解決思考

- 部署全体の業務プロセスに関心を持ち、常に改善の視点をもって現状を分析することで本質的な課題を発見し、その解決策を論理的に設計・立案しようとする姿勢

### ○全体最適の視点

- より広い視野を持って、自身の取り組みが他の職員や所属部に与える影響を常に考慮し、部全体に対して最も効果が高まる最適な解決策を構築する姿勢

### ○継続的な学習意欲

- アンテナを常に高く張り、新たな知識を積極的に探求するとともに、得た知見を組織の課題解決にどう活かせるかを考え、チームに還元・共有しようとする姿勢

## 必要なスキル

### ○ITリテラシー

- グループウェアの応用機能やノーコードツールを活用し、業務の自動化・効率化を実現する仕組みを構築するとともに、その利活用を部署内で働きかけ、支援できる。
- 定型的な業務プロセスの見直しや本市の行政課題の解決に向けて、AI等の先端技術を組み込むことで効率化や高度化が図れないかを見極め、リスクを評価した上で、実証を企画・提案できる。
- BIツールを利用し、所属部署に関連する業務データを可視化・分析するとともに、その結果から得られる気づきを関係者と共有できる。

### ○業務改善能力

- 所属する部署の業務フローを可視化（As-Is分析）し、現状の課題を分析できる。
- 客観的データに基づき、具体的な改善案（To-Beモデル）を立案し、その導入効果を論理的に説明できる。

### ○プロジェクト遂行力

- 各部課で設定した改善プロジェクトの目的及びゴールについて、プロジェクトを主導し、必要なタスクを構造化するとともに、関係者と役割分担を調整できる。
- タスクの進捗状況や課題を関係者と共有し、連携して解決にあたることができる。